

平成25年3月期 中間決算の概要

当中間期のクローラクレーンの需要は、先進国地域では日本、北米が回復に転じましたが、欧州では低迷が続き、新興国地域ではリーマンショック以降、回復基調にあった中国やインドにて足踏み傾向が見られましたが、東南アジア地域を主体に全体では堅調であり、世界全体では前中間期にほぼ横這いとなりました。また、為替の円高定着などにより、当中間期においても厳しい事業環境で推移しました。

日本市場は復興需要を背景に公共工事の増加や民間工事の緩やかな回復により、新車購入が進んだ結果、クローラクレーン新車需要は前年同期比36%の増加となりました。

海外市場は、主要市場の北米では経済の緩やかな回復やエネルギー関連工事の増加により需要は増加に転じましたが、西欧では景気後退局面に入り回復には至っておりません。新興国市場では、中国やインドは経済成長の緩やかな減速によって需要も横這い又は減少しましたが、その他アジア地域などでは需要は増加傾向にありました。

こうした厳しい市場環境の中、当社は新製品の発売、原価低減や固定費低減など各種施策に取り組んだ結果、当中間期の業績は以下の通りとなりました。

【平成25年3月期中間の経営成績（連結）】

(%表示は対前中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当中間期	13,601	0.4	496	89.3	442	190.8	222	—
前中間期	13,544	11.1	262	—	152	—	△8	—
前期	27,068		494		455		161	

国内事業については、新車需要の増加に加え、排ガス規制対応機種の新製品の発売により販売数が増加し、またサービス事業の充実に努めた結果、当期の国内売上高は6,495百万円（前年同期比8%増）となりました。

海外事業については、北米ではLink-Belt Construction Equipment Company、欧州地域においては、Hitachi Construction Machinery (Europe) N.V. など各地域の代理店と連携し、代理店の販売支援や新興国市場の開拓などに努める一方で、排ガス規制対応機種や新興国向け機種といった新製品の発売を行った結果、当期の海外売上高は7,106百万円（前年同期比0%増）となりました。

世界経済は依然、先行き不透明な状況が続くと予想され、クローラクレーン市場の世界需要においても急激な回復は見込まれませんが、当社は以下の重点方針を推進することで、引き続き、競争力の有るスリムな事業体質の構築を目指します。

- 1) 徹底した原価低減の推進
- 2) 市場要求に合った新機種開発の推進
- 3) 関係会社及び代理店との連携強化による顧客満足度のさらなる向上
- 4) 固定費圧縮の継続
- 5) キャッシュフローの改善
- 6) 内部統制を重視した企業体質の強化

(お問い合わせ先)
日立住友重機械建機クレーン株式会社
経営企画部
Tel/ (03) 3845-1386 Fax/ (03) 3845-1379
〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目9番3号
URL/ <http://www.hsc-crane.com>